

第3地区

上野町、柏葉、鷺山、竹之丸、立野、仲尾台、西之谷町、
本牧緑ヶ丘、豆口台、妙香寺台、麦田町、大和町、
滝之上・山手町の一部

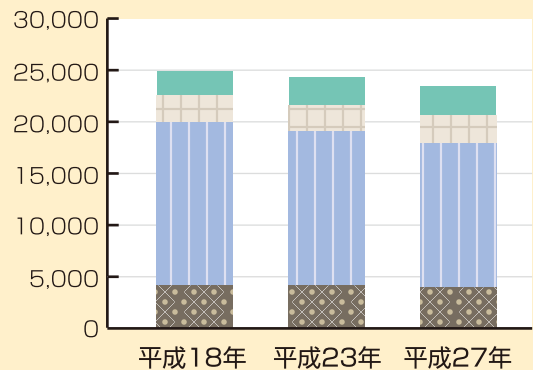


地区の現状 この地区はこんなまち

第3地区は“古き良き横浜”の姿が今でも残る地域で、本牧通り沿いに商店が軒を連ね、その背後の丘陵地帯に住宅地が広がっています。長く住み続けている住民が多いため、少子高齢化が年々進み独居世帯も多くなっています。そのような中でも地域の繋がりを大切にして、ふれあいサロンや子育てサロン等福祉活動が多数活発に行われています。

<地区内人口の推移> (単位：人) (各年とも3月末現在)

	平成18年	平成23年	平成27年
18歳以下	4,126	4,060	3,904
19～64歳	15,787	15,043	13,993
65～74歳	2,596	2,487	2,737
75歳以上	2,355	2,790	2,868
合計	24,864	24,380	23,502



第3地区は区内で一番人口の多い地区ですが、総人口は減少傾向にあります。

65歳未満の人口が減る一方で、65歳以上の人口は増加しており、高齢化率はここ10年で19.9%から23.8%と、区内でも比較的高くなっています。

地区の歴史

横浜の開港後、山手地区は外国人居留地として開発され、諸外国の領事館が立ち並び、スポーツや吹奏楽など西洋文化の日本発祥の地として栄え、現在でも外国文化が香る地域となっています。また現在の大和町商店街の場所には慶応元年に外国人射撃場が開設され、その名残で今でも長い直線が続く商店街になっています。

明治末期に山手隧道が開通し市電が通ると商店街が形成され、市街地が通り沿いから丘の上まで徐々に広がっていきました。戦後開発された丘陵地の住宅地の住民は定住志向が強く、長く住み続ける人が多くなっています。

この地区の
良いところ

- ◆ 横浜の中心に近く、公共施設・機関へのアクセスに便利。
- ◆ 大きな公園や文化施設、知られざる名所・旧跡が数多くある。
- ◆ 観光地が近いが、昔ながらのまちで、向こう三軒両隣のはまっこ気質が残っている。
- ◆ 多くの外国人が住んでおり、海外の文化に触れる機会に恵まれている。



山手隧道



市電が通っていた頃の山手隧道

- ◆ サロンや食事会など身近な場所での交流の場が活発に行われている。



ふれあいサロン



子育てサロン



お食事会

- ◆ 縁日・お祭り・ラジオ体操など、各町内会での活動が活発である。



柏葉公園ラジオ体操



地域ふれあいまつり

- ◆ 地域の中に、様々な経験・特技を持った方がいる。



地域のことは、みんなで知恵を出し合って

- ◆ 自治会町内会、民生委員・児童委員、老人クラブ、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、ボランティアなど、様々な活動が活発に行われている。



“えん”のバトンをつなげ、もっと住みよいまちにしよう

今後に向けて

- ◆ 自治会町内会の役員や民生委員児童委員等の担い手、地域で活動するボランティアを引き受ける人が少なくなっている。
- ◆ 自治会町内会への加入が減り、単位町内会だけでは運営が難しい行事等も出てきている。
- ◆ 地域情報や福祉保健に関する情報をもっと伝わると良い。
- ◆ ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えて、災害時や緊急時に近隣のサポートを必要とする世帯が多くなっている。
- ◆ ごみ出しや空き家、野良猫対策など、まちの安全美化対策が必要。
- ◆ 買い物や通院等の外出に、坂道の多さが負担となっている。

目標と具体的な取組

第3地区の“えん”結び

- ◆ すべての住民が交流できるまちをめざしてつながりを広げていこう！
 - 今まで地域の活動に参加したことのない方にも目を向けてもらえるよう第3地区の運動会など、地域の行事を無理せず楽しく継続し、全ての住民が交流できるまちをめざそう。
- ◆ 多様な媒体を活用して、地域の大切な資源を伝えていこう！
 - 今ある情報ツールや新しい情報ツールをより活用し、多くの人に情報が伝わるように工夫しよう。
- ◆ さまざまな活動団体が地域の情報を共有して、互助の力を強めよう！

第3地区の元気！

- ◆ スポーツやボランティアを通じて、気軽に健康づくりに取り組み、地域の輪に加わろう！
- ◆ 安心して暮らせるまちをめざし、防災・防犯・美化に取り組もう！

第3地区の仲間づくり

- ◆ 情報を広く流して、日頃参加する機会の少ない方や外国籍の方にも参加できる雰囲気作りをしよう！
- ◆ こどもや若い世代が地域に関わるきっかけをつくろう！
- ◆ 今、活動している担い手と新たな担い手とが協力し、仲間の輪を広げよう！
 - 顔を合わせる機会を数多くつくり、色々な人、団体のつながりを広げよう。

第3地区の地区別計画は 「地域支えあい連絡会」が主体となり検討しました！

第3地区では、町内会や民生委員・児童委員、ボランティア等地域で活動している方々、学校、社会福祉協議会、行政、ケアプラザなどがメンバーとなって「地域支えあい連絡会」を行っています。それぞれの活動が相互に連携できるように顔の見える関係をつくり、地域の現状や課題となっていることを情報交換しながら、「支えあう仕組みづくり」をともに考えて話し合っています。

自分たちの地域が「こうなったらいい」、「こんなことができるといい」…という理想の姿を語り合いながら、誰もが安心して、いきいきと生活できる地域づくりを進める、それが「地域支えあい連絡会」です。

第3地区の地区別計画は、地域支えあい連絡会が主体となり検討しました。

【策定までの流れ】

①平成27年3月7日

地域支えあい連絡会主催「第14回地域ふれあいまつり」にてアンケート実施



②平成27年6月18日

平成27年度第1回地域支えあい連絡会にてアンケート結果の共有、課題等の抽出

③平成27年7月2日

意見交換会（支えあい連絡会のほかに各町内の会長にもご参加いただきました。）



④平成27年9月4日

平成27年度第2回地域支えあい連絡会にて意見交換会の振り返り



⑤平成27年11月4日

平成27年度第3回地域支えあい連絡会にて最終とりまとめ

地域トピック



「第3地区元気づくり推進協議会」が発足

各地域団体が連携して、安心・安全・健康で
きれいな街づくりを目指します

第3地区では、平成28年1月17日に「第3地区元気づくり推進協議会」が発足しました。

今後、各団体・地域活動グループ等がより連携を深め、地域交流や福祉保健などの活動をすすめていきます。



【協議会の目的】

少子高齢化の進展とともに顕在化している「地域の課題」について、第3地区内における各団体・地域活動グループ・地域施設等が、連携して課題解決に取り組み、「安心して安全で健康できれいな街づくり」を進める事を目的としています。